

北海道バプテスト地方連合、2：11「信教の自由を守る日」札幌集会状況報告、
連合会長、全 皓燮、

昨年夏、リニューアル完成された、日本キリスト教団札幌北光教会会場にて「信教の自由を守る2：11札幌集会」が行われました。

講師、佐藤幹雄氏、日本キリスト教団岩見沢教会牧師

主題、「国家主義と靖国、天皇制問題」～変貌しつつある国家主義(ナショナリズム)～

日時、2011年2月11日(金)Pm.13:30～

主催、札幌キリスト教連合会、信教の自由を守る委員会

デモ行進、三時30分、北光教会前出発、南大通を西に進み駅前通りから左折、南4西3
ススキの交差点にて解散。

j



リニューアル完成された
日本キリスト教団札幌北光教会会場

講演、要訳

国家主義そのものの内容を変えつつあることを見逃せない。かつては天皇を国家の中心に据えてきた。しかし近年右翼、保守層の中に天皇よりも国家そのものを全面に据える傾向がみられる。新しい国家主義の社として「無宗教の国立戦没者追悼施設」構想が提唱される等という事もあり、日本における国家主義そのものが形を変えてきているといえる。このような中で私たちが担ってきた「靖国問題」をどう捉え直したらよいかを一緒に考えたいと思う。